

# SDC主催『清水建設 温故創新の森 NOVARE』の見学会が開催されました。

去る11月19日（水）、14:30～16:30、爽やかな秋晴れの中でSDC関係者9名が参加して『清水建設 温故創新の森 NOVARE』の見学会が開催されました。

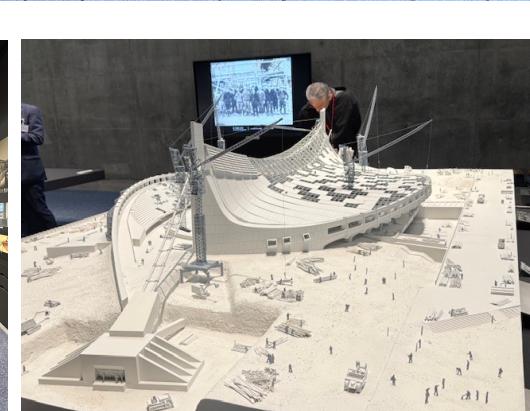
様々な最新技術が取り入れられたノヴァーレ（NOVARE；ラテン語で「新たにする、変革する」）は、JR京葉線潮見駅に隣接し、総床面積22,000m<sup>2</sup>を超える5棟からなる大きな施設で、2024年に竣工した建物です。

NOVARE Labの屋上に設置されたPVの見学はできませんでしたが、そこで発電された電力でNOVARE Hubは『ZEB』の認証を受けています。

建築のプロ、プロを目指す学生さん達、また、こども達にとっても、建築に興味を持つてもらう意味で大変刺激的な施設であることが実感せられる有意義な見学会でした。

プロジェクトの概要については、下記のウェブサイトを是非ご参考ください。

<https://www.shimz.co.jp/novare/index.html>



SDC（太陽エネルギー・デザイン研究会）主催

**『清水建設 温故創新の森 NOVARE』見学会**

今回の見学会では、2024年に竣工した最新事例の一つである「清水建設 温故創新の森 NOVARE」の見学会を行います。プロジェクトの概要を次ページに紹介しましたが、詳しくは下記のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.shimz.co.jp/novare/index.html>

**■日時：2025年11月19日（水）14:30～16:30**

■会場：清水建設 温故創新の森 NOVARE

■集合場所・時間：JR京葉線潮見駅 改札口 14:20

■参加定員：10名（先着順）

■申込：下記のSDC事務局メールアドレスへ  
[info@solar-design.jp](mailto:info@solar-design.jp)

①氏名  
②会社名  
③メールアドレス  
\*最終申込締切：2025年11月12日（水）  
\*申し込み人数が定員に達した場合はその時点で締め切ります。  
\*同業他社でも参加できます。

■見学スケジュール  
14:30～16:30 NOVARE見学  
15:00～15:10 Archivesでの映像視聴  
15:15～15:45 旧渋沢邸見学

温故創新の森 NOVARE 住所：江東区潮見2-8-20

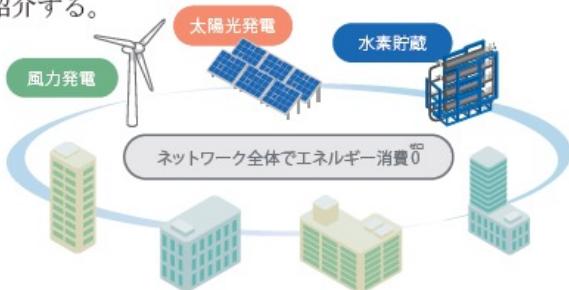
見学会フライヤーの抜粋

# 清水建設 温故創新の森 NOVARE（概要）

清水建設は、2030年を見据えた長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」において時代を先取りする価値を創造する「スマートイノベーションカンパニー」を目指すべき企業像として掲げている。「温故創新の森 NOVARE」は、その実現に向けた事業構造・技術・人財のイノベーション推進の場、社会とのコミュニケーションを図る拠点として、埋立地である敷地全体を緑化等による環境創造を行い整備した。この拠点は、核となる情報発信・交流施設「NOVARE Hub」、生産革新を担う研究施設「NOVARE Lab（技術研究所朝見ラボ）」、体験型研修施設「NOVARE Academy（ものづくり至誠塾）」、歴史資料展示施設「NOVARE Archives（清水建設歴史資料館）」、当社二代清水壹助が手掛けた「旧浜沢邸」の5施設からなる。脱炭素社会におけるエネルギー利用のあり方として、複数施設をネットワーク化して都市全体でゼロ・エネルギーの実現を目指す「ネット・ゼロ・エネルギー・ソサエティ（ZES）」という考え方を実証する場として、先進技術も多数導入。街区熱融通システム「ネツノワ」により、複数建物に分散設置された熱源機器の統合制御を行い、複数建物間での熱エネルギーの融通を可能としている。ここを活用して、多様なパートナーとの共創、建設事業の枠を超えた活動を実践し、レジリエンス・インクルーシブ・サステナブルな社会の実現、50年先・100年先を見据えた会社と社会の発展に貢献できる人財の育成を目指している。

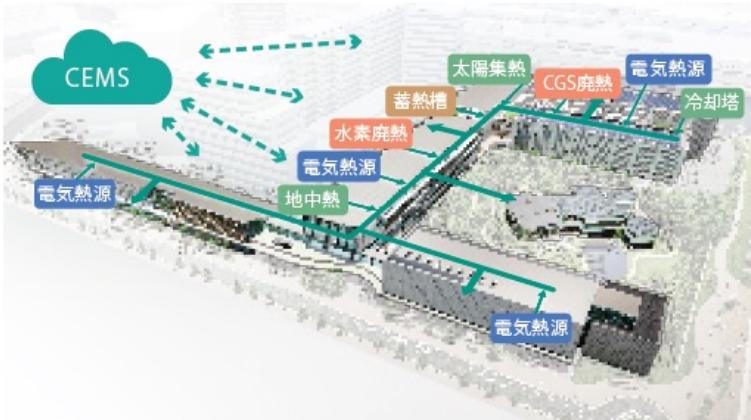
## ZES（ネット・ゼロ・エネルギー・ソサエティ）

清水建設では脱炭素社会の実現に向け、建物単体のゼロ・エネルギー化であるZEBに加え、複数建物でゼロ・エネルギーを実現するネット・ゼロ・エネルギー・ソサエティ（ZES）の構築を、将来のあるべき姿として目指している。NOVAREでは、ZES実現に向けた様々な先進的環境技術に取組んでおり、その中から特徴的な環境技術を紹介する。



## 複数棟で空調熱エネルギーを融通する街区熱融通システム「ネツノワ」

NOVAREでは、複数棟で空調熱エネルギーを有効に利用するため、街区熱融通システム「ネツノワ」を導入し、建物間で熱融通を行う。「ネツノワ」は、複数の建物で熱を融通し合う省エネルギー化システムで、A I 搭載のC E M S (Community Energy Management System) が、過去のエネルギー利用実績や気象予報、建物の利用状況、人の位置情報などをもとに熱負荷を予測。複数の建物に分散配置した各種熱源を統合制御して「まちレベル」で大幅なCO<sub>2</sub>削減を目指す。NOVAREでは5つの施設の熱源を統合制御し、施設全体で熱を融通、ZESを目指す「まち」と見立て実証を行う。



プロジェクトタイプ：WELL v2 Pilot

認定日：2024.4.18

認定レベル：プラチナ

### ・BELSの『ZEB』認証取得

- 竣工：2024年
- 延床面積：22,319m<sup>2</sup>
- 階数：地上4階
- 構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 設計・施工：清水建設株



## 超個別空調システム「ピクセルフロー」

「ピクセルフロー」は、執務者の位置情報と好みに合わせて空調を自動制御するシステムである。環境ナビで得られた執務者の好みの温冷感に合わせ、フロアファンユニットに内蔵された小型ファンの気流を制御。この超分散制御により快適性と省エネ性能の向上を両立させている。可動式家具を前提とするノーアドレスオフィスに適した、パーソナルでフレキシブルな空調が可能となっている。

